

鹿児島パース姉妹都市50周年鹿児島市代表团による総領事公邸訪問における歓迎の挨拶 (7月22日)

下鶴 隆央 鹿児島市長及び鹿児島市代表团の皆様

在パース日本国総領事の内藤康司でございます。ひとことご挨拶を申し上げます。
本日は鹿児島市パース市姉妹都市締結50周年の歴史の節目に、在パース日本国総領事館
をご訪問頂きありがとうございます。心より歓迎申し上げます。

私は2022年10月に着任しましたが、赴任前に、東京から下鶴市長に電話でご挨拶をさ
せて頂きました。その際に姉妹都市50周年には現地でお待ちしていますと申し上げたと
記憶しております。その後、お手紙も出せさせて頂きましたが、今日、その歴史的なご訪問
をお迎えすることができて大変光栄に思います。

今回のご訪問に先立ち、3月25日に当地で開催した第10回目パース日本祭りでは、鹿児
島パース姉妹都市50周年をハイライトさせて頂きました。下鶴市長のビデオメッセージ
を冒頭スクリーンで紹介し、鹿児島市よりご推薦頂いた3名の鹿児島伝統芸能のゲストパ
フォーマー、瀬戸口留美子さん、堺真子さん、平田理子さんに素晴らしい演奏を頂きました。
この結果、パース日本祭りはこれまで見たこともない大きな盛り上がりを見せ、過去最高の
2万人以上が参集するなど、鹿児島との半世紀続く友好関係が、幅広いパース市民に温かく
受け入れられ、祝福を受けたところでございます。

日本と西オーストラリア州との関係は資源エネルギーを中心に特別な絆があります。戦後
の難しい時代に、西豪州の方々が中心となり、終戦わずか12年で日豪通商条約を締結し、
日本の投資で鉄鉱石産業が振興、後に天然ガス産業が発展し、両国のめざましい発展を引き
出し、世界経済への大きな貢献につながりました。これは世界的にも稀有な成功モデルであ
り、特に西豪州の方々は日本との関係に特別な想いがあります。

現在、日本が輸入する鉄鉱石の53%、LNGの約3割が西豪州から輸入されています。日
本の輸入する小麦の15%（日本で使用されるうどん用中力粉の大半）が、西豪州から輸入
されるなど、日本の産業や日常生活を大きく支えております。そしてその生産と輸出入に関
わる日豪関係企業がパース中心部に集まっております。

こうした関係を支えているのは相互の信頼に基づく人と人との関係だと思っております。
その大切な一翼を担って頂いているのが正に姉妹都市交流であり、その中で最も伝統のあ
るのが鹿児島パースの姉妹都市です。この場をお借りしまして鹿児島市の皆様のご長年のご
尽力とご支援に対し、心より御礼申し上げます。

今年2月にシドニーのローウィ研究所の世論調査があり、最も信頼できる国はどこかとの
質問に対し、トップは日本で87%で、しかも4年連続トップという驚くべき結果が報じら
れました。日本への信頼感、親近感は、長年にわたる幅広い人的交流、姉妹都市交流、学生
交流で築かれてきたものであると感謝申し上げます。

鹿児島・パース姉妹都市が締結された1974年は、日本の総理として初めてのパース訪問(田中角栄総理)がありました。在パース日本総領事館も、西豪州の文化遺産であることの建物を総領事公邸を購入した特別な年でした。鹿児島市がパイオニアとなり、姉妹都市交流は広がり、西豪州では11都市、豪州全体では109都市と広がっております。

私は着任直後の2022年10月に岸田総理をパースにお迎えしましたが、日豪間の特別な戦略的パートナーシップは強化され、政治・経済、資源エネルギー、人的交流で次々に前向きな展開が起きております。

翌2023年の日本から豪州への投資額、豪州とのM&A件数も過去最高を記録しました。自由で開かれたインド太平洋の発展と安全保障でも、パースには海軍基地がありインド洋の玄関口として重要視されつつあり、今週もパースでインド洋国防安全保障会議が開催され日本から海上自衛隊幹部を含む多数の代表団が来訪します。

人的関係では、昨年10月末にコロナで止まっていたパース・成田ANA直行便が再開となり、昨年12月に豪州からの日本への渡航者は8万人を越え、バリ島を押さえ日本は最も人気の観光地となりました。直行便は4月に再度一旦お休みとなりましたが、鹿児島出身の芝田ANAホールディングス会長のご尽力もあり10月14日から再び再開します。

教育交流でも、治安が良く、人も気候も温かいパースの人気は高まりつつあり、日本からの短期を含む留学生は、西豪州政府が把握するだけで年間1200名、日本からのワーキングホリデーも昨年過去最高です。そのような高まりの中で2万人が参加する日本祭りも開催されるなど、下鶴市長のご訪問は大変時宜を得たものであります。

このあと表敬訪問されるバジル・ゼンピラス市長も本年訪日される計画であり、両市による相互交流により、関係が一層深まることを祈念しています。市長表敬、歓迎レセプション、そして明日の鹿児島パークでの植樹式には私も同席をさせていただきます。

歓迎レセプションでは、当地の盆踊りグループがおはら節を披露します。ホスピタリティある日本定住者の企画に私自身も参加しますので、下鶴市長をはじめ団員の方にもご参加頂き、本場のおはら節を見せて頂ければ嬉しく思います。

姉妹都市50周年を記念した今回のご訪問が有意義なものとなり、両市の関係が一層発展することを願っております。今後もさらなる発展に向けて、「青少年の翼」で来訪される学生の方々の安全面を含め、引き続きパースにて各種のお手伝いをさせていただきますのでどうぞ今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(了)